平成３０年度　一般財団法人鳥取県観光事業団事業計画

1　基本方針

平成３０年度は、とっとり花回廊を除く６施設において第４期指定管理者が選定される。これまで培ってきた知識や経験、多数の施設を管理運営するスケールメリットを十二分に活かし、観光事業団が引き続き６施設全ての管理者として指定されるよう最大限の努力を行う。また、新たに公募となる観光施設の受託についても取り組み、翌年度以降のさらなる相乗効果の発揮に繋げたい。

「山陰ディスティネーションキャンペーン」、「大山開山１３００年祭」といった大型の観光キャンペーンについて、当事業団としても鳥取県や関係団体と連動した事業展開を図り、鳥取県の観光振興に寄与していきたい。

平成２９年度の利用者数については、悪天候や事業の不振などの要因により、目標比・前年比ともに減少している。今年度はインバウンド対策として受け入れ環境の整備や台中花博による観光ＰＲを行うほか、外部イベントの招致や自主イベントの見直しなどを行い、さらに前述の大型キャンペーンも活用して、利用者数を確保したい。

職員が働きやすい環境を作るため、働き方改革に継続して取り組むほか、新たに健康経営の考え方も取り入れ、従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指したい。地域や利用者からは元より、働く職員からも愛される施設づくり、法人づくりに取り組んでいきたい。

2　集客目標

施設名	H30 年度	H29 年度		対比	
	目標(A)	目標(B)	見込(C)	(A)/(B)	(A)/(C)
こどもの国	165,000	170,000	151,320	97.1%	109.0%
響の森	44,000	44,000	42,497	100.0%	103.5%
臨海公園	400,000	425,000	373,580	94.1%	107.1%
燕趙園	100,000	100,000	70,123	100.0%	142.6%
梨記念館	130,000	120,000	121,213	100.0%	99.0%
タワー	150,000	160,000	124,000	93.8%	121.0%
花回廊	370,000	400,000	326,460	92.5%	113.3%
合　　計	1,349,000	1,419,000	1,209,193	95.1%	111.6%

平成３０年度　事務局本部事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

施設共通事業の実施による利用促進

（２）観光振興への寄与

鳥取県や観光関連団体との連携強化による観光振興への寄与

２　新たに取り組む重点項目

（１）指定管理施設の受託に向けた取り組みについて

・管理運営中の６施設全ての受託に向け、事業団一体となった取組を実施

・かにっこ館の受託に向けた魅力的な申請書類の作成

⇒受託の際には、スムーズな移行に向けた準備室を開設

（２）大型観光事業との連携について

・大山１３００年祭、山陰ディスティネーションキャンペーン、日本の旬などの大型観光事業に対して、事業団一体となった連携を実施

（３）施設間協力及び調整について

・経営本部会議、総務会議、集客担当者会議を通じた施設間の協力、調整機会の創出及び推進

・プロパー職員以外も意見交換がしやすい担当者会の開催

（４）健康経営優良法人認定に向けた取組について

・従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践するため健康推進委員制度を新設

（５）研修の実施について

・研修計画に基づいた計画的な研修の実施

・無期雇用転換を見据えた、研修対象職員の拡大

・実際の業務に使える研修の探求、実施

・若手職員を中心とした、テーマ別研修の実施

（６）働きやすい職場づくりについて

・ワークライフバランスの推進

・職員の処遇改善

・効率化に向けた業務システムの導入

３　その他

平成３０年度　鳥取砂丘こどもの国事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

児童の健全育成に資する魅力ある事業の実施

（２）観光振興への寄与

鳥取市内の観光施設及び鳥取砂丘との連携強化

（３）安心して遊べる環境

日常・保守点検の充実と迅速な修繕

（４）自然とふれあう場所の提供

樹林地の整備

２　新たに取り組む重点項目

（１）「はたらく自動車がやってくる！」について

・規模の拡大

・ワークショップの開催

（２）プラレールイベント「ぐりぷら電車王国がやってくる」について

・規模の拡大

・冬期間の集客促進

（３）特に父親、男性と子どもを対象としたイベント開催

・ワンオペ育児解消

「お父さんとアウトドアクッキング」など

（４）樹林地の整備について

・ぼうけん広場付近樹林地の整備

・整備済み区域の管理

（５）鳥取砂丘再生会議への参加

・ビジターセンター開設に向け周辺団体等との連携強化

３　その他

（１）食育イベント「マルコラ」の開催（第３回）

（２）鳥取市児童館フェスタ（１０月頃）

平成３０年度　氷ノ山自然ふれあい館事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

・ビジターセンター機能の充実と魅力ある自然体験プログラムの実施

・フリースペースの有効活用（ＧＷ・夏休み特別企画等）

（２）観光振興への寄与

・地元関係者等と連携したイベント及びエコツアーの開催（夏山開き・山フェス）

・インバウンドの誘致活動（台湾、香港、タイ等）

（３）営業・広報活動の充実

・県内外の幼稚園、小学校、公民館等へ営業・広報活動を実施し利用促進を図る。

２　新たに取り組む重点項目

（１）自然環境教育の推進

・幼児・小学校低学年を対象とした自然環境教育の推進（森の幼稚園、自然体験学習等）　※出前講座

・フリースペースの有効活用（ＧＷ、夏休み、秋の連休等）

（２）地域連携について

・山フェスイベント開催（地域ボランティア等と連携、屋台、星空観察会等）

・地元関係者と連携したイベント開催（氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会）

（３）インバウンドについて

・鳥取県及び中部観光推進機構と連携し企画提案（テーマ雪）

（４）魅力あるプログラムの開催

・小学生を対象にした「親子自然研究クラブ」での環境教育の実施

・氷ノ山周辺の自然を活用したシャワークライミング等の実施

・出前体験及び講座の実施（観光施設、小学校等）

（５）広報、営業活動の強化

・従来の学校関係のみならず、県外旅行社、インバウンド関係及び公民館への営業強化及びＳＮＳでの情報発信

３　その他

（１）鳥取県委託事業『「氷ノ山」ヤマフェスイベント』開催

・「山の日（8/11）」イベント（第３回）　10 月 6 日（土）　開催

（２）　氷ノ山夏山開き

・６月４日（日）開催（山の日全国大会プレイベント）

※わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会主催事業

平成３０年度 東郷湖羽合臨海公園事業計画

１　管理運営の基本方針 **（１）利用者へのサービスの提供と利用促進** ・公園施設及び遊具の整備 **（２）観光振興への寄与** ・ウォーキング大会、ウィンターイルミネーション等実施 **（３）新たな視点による公園づくり** ・植生にあった新規植栽の導入 **（４）住民ニーズに対応したイベント開催、地域貢献** ・子育て応援、シニア向けの軽運動教室の充実 **（５）安全・安心に配慮した公園管理** ・遊具等の公園施設の安全点検の強化
２　新たに取り組む重点項目 **（１）湯梨浜町との連携について** ・ガーデンコンテスト実施。 ・「宙ユリ」の開花展示。 ・ウォーキングに配慮した景観づくり。 **（２）ターゲットバードゴルフ利用促進について** ・あやめ池ＴＧＢ場でオープン大会開催。 **（３）燕趙園との連携について** ・あやめ池感謝祭などを燕趙園園内で子ども向けイベント実施。 **（４）あやめ池公園の充実について** ・藤棚の新設。 ・水生植物の増殖。
３　その他

平成３０年度　中国庭園燕趙園　事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

四季折々の庭園の魅力発信

中国らしさの演出

（２）観光振興への寄与

地域と連携し、燕趙園を核とした賑わいの創出

人が集まり憩う道の駅づくり

（３）中国との文化交流の発展

関係団体との連携

２　新たに取り組む重点項目

（１）　夏休み特別イベントについて

・新日本海新聞社との協賛イベントを継続開催。日本海テレビ、湯梨浜町など関連団体と連携して開催

・移動水族園を開催予定

（２）　臨海公園連携イベントについて

・幻想の夕べをお盆の時期に実施（１日）

・庭園花火を夏休み期間中に実施（１日）

・風の音コンサートを初秋に実施（１日）

・秋の感謝祭を秋に実施（１～３日間程度）

・イルミネーションウォークを１２月に実施（１日）

・春のこどもまつりを春休み期間中に実施（１～３日間程度）

（３）　中国エリア連携イベントについて

・龍鳳閣、レストラン吉華、レストラン豊味園と共同でウォーキングを実施

（４）　道の駅７周年感謝祭について

・ご当地アイドルのコンサートや豊味園の食イベントを実施

・野菜の量り売りや、軽トラ市などの特別販売を実施

（５）　道の駅リニューアルについて

・レイアウトの変更

・テナントの募集

３　その他

（１）中華コスプレ大会（主催　中華コスプレ大会実行委員会）

平成３０年度　鳥取二十世紀梨記念館事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

・施設の魅力アップを図る案内機能の充実

・県民の梨産業、歴史文化の理解を深め、梨記念館の魅力を伝えるため、引き続き「無料感謝デー」を実施

（２）観光振興への寄与

・営業・広報活動に努め、国内唯一の梨記念館として、知名度の向上促進

・各観光関連団体と連携し、国内外への誘客活動を積極的に実施

（３）果樹振興について

・梨に特化せず、県産果実の情報発信・ＰＲの場として啓発活動を実施

（４）梨生産農家等支援の充実について

・「梨つくり大学」の開講により、専門知識の普及を図るとともに、「梨のなんでも相談室」を常時行うことによる梨生産農家への支援の充実

２　新たに取り組む重点項目

（１）　インバウンドおもてなし事業について

・スタッフを対象とした英語などの外国語研修実施

・館内、売店などの案内表示の多言語化促進

・英語文書による館内展示説明新設

（２）集客促進事業について

・ホームページをリニューアルし、英語ページの新設、スマートフォン対応の通販システム新設などによる集客部門、販売部門の充実

・二十世紀梨まつり（仮称）を９月に開催、梨を「見て・学んで・体験して・味わって」楽しむイベント実施

（３）果樹振興について

・地元の梨料理研究グループと連携し、梨を使った料理・加工品を紹介する食べ比べイベントを開催し、梨の消費拡大、情報発信強化を実施

・梨の知識を競う梨博士選手権（仮称）を開催し、梨の歴史、文化などの啓発を実施

（４）食農教育の推進について

・梨ガーデンを活用し、剪定から土壌改良まで一年を通じた梨つくり体験を、小学生の親子を対象に実施。梨つくりの楽しさ、難しさなどを体感する食農教育を促進

３　その他

（１）平成３０年度鳥取県事業にて英語中国語韓国語の音声ガイドを新設(予定)

平成３０年度　夢みなとタワー事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

・お客様目線でのサービスの充実や魅力あるイベントの開催による、更なる集客の促進

（２）観光振興への寄与

・鳥取県及び環日本海諸国を中心とする自然、歴史、文化の紹介や情報発信

・地域連携イベント等を通じて賑わいの創出による観光振興

（３）インバウンドについて

・周辺施設と連携して客船寄港時の受入態勢の整備

・貨客船ターミナル整備に向けての、周辺施設、関係機関との連携

２　新たに取り組む重点項目

（１）　新日本海新聞社と連携した大型イベントの開催について

・春「あそべる宇宙博」３／１７～５／６の３６日間

・夏「カブト・クワガタふれあい遊園地（仮)」７／１４～８／１９の３７日間の予定

・期間中はイベントの魅力アップとタワー収益の向上のためワークショップや縁日、お化け屋敷などのイベントも同時開催。また、ＧＷ、お盆には周辺事業者と合同で境港駅からのシャトルバスを運行

・同時開催の自主イベントの充実による魅力向上

（２）　展望ガイドの実施について

・大山 1300 年祭に因んだ展望室から見える大山及び国引き神話や、貨客船ターミナルの完成を含めた港としての役割などのガイド事業を開催

（３）　展示の追加・リニューアルの実施について

・環日本海の国の文化を紹介する目的で、各国文化に因んだ企画展示会を実施

・企画展で購入した展示物の常設化による、常設展の魅力向上

３　その他

（１）周辺施設で構成する“夢みなと公園実行委員会”等による取組

（ＧＷ祭、まぐろ祭、夏まつり、夢みなとウォーク、シャトルバスの運行等）

（２）多目的ホールなどを利用した各種団体と連携したイベントの充実。

（ほっとはあと＆福祉ふれあいまつり、こどもまつり、伝統芸能まつり等）

（３）季節感のあるイベントの開催や商品提案

（ハロウィンやクリスマス、カフェの特別メニュー等）

平成３０年度　とっとり花回廊事業計画

１　管理運営の基本方針

（１）利用者へのサービスの提供と利用促進

利用者の立場に立ったサービスや新規に植栽の見どころつくり、庭園の魅力を高め、各種イベントの充実と地域と連携した展示や発表の機会を拡大

（２）観光振興への寄与

花をテーマとしたショーガーデンとして、植栽テーマを持ったクオリティの高い庭づくりを実施

（３）県内花き園芸の振興への寄与

県内優先調達による花き生産者の生産の安定や関係機関と連携し生産者の技術指導を実施

２　新たに取り組む重点項目

（１）　年間植栽展示テーマ「花の小宇宙（コスモ）」

・季節毎の花の特徴を活かし、宇宙を表現した魅力ある展示

（２）　春の賑わいについて

・桜について桜まつりを含め桜ウィークとして期間を拡大し、営業広報を実施

・チューリップやハンギングで賑やかにプロムナード橋を飾る空中庭園を開園記念日より開催

・冷蔵チューリップを２，０００鉢以上増やし、ＧＷのチューリップを充実

（３）子供対策について

・夏休みイベントにドーム研修室を利用した有料イベントを実施するとともに小中学生を無料としファミリー層の誘客を図る

・人気の高い食虫植物ガイドに外部講師を招いての講演、実施回数の増加

（４）地域連携事業について

・屋外ステージを舞台に地元ラジオ局主催のコンサートの実施

・南部町と連携し地域を巻き込んだイベントの実施

・地元新聞社との共催イベントの実施

（５）フラワーイルミネーションについて

・「宇宙」を表現した展示をドームをメインとして実施

・米子工業高等専門学校と連携した作品の作成

（６）大山開山１３００年祭について

・花の丘から、お花畑＋大山が楽しめるイベントを実施
（ダイヤモンド大山撮影会・ヨガなど）

（７）台中花博出展について（インバウンド対策）

・１１月開催の花博に出展することにより鳥取県及びとっとり花回廊をＰＲし、台湾及びその周辺地域から鳥取県及びとっとり花回廊への誘客促進を図る

３　その他

（１）大阪フラワーアートミュージアム（関西本部ＰＲ事業）

（２）皆生花壇（皆生温泉賑わい創出事業）

（３）花と緑のフェア（鳥取県造園建設業協会西部地区主催事業）